

あすなろの木

（光明中校より）
 編集者：校長 上田 薫
 No. 16 号
 平成30年11月2日

11月(霜月)の到来 「文化の秋」深まる！



11月の扉を開いたとたん、何か朝晩がめっきり寒くなりました。こういう季節の変わり目は、十分に体調管理に気をつけてください！

さて、今日(11/2)は生徒会立会演説会。本校を引っ張っていらっしゃるニューリーダーたちが誕生します。先月末の告示から毎朝玄関前に立ち、みんなへの呼びかけをしてきたメンバーが、承認される大事な日です。これまでの役員の人たちがつくりあげてきた伝統をしっかり受け継ぎ、学校がさらに飛躍できるよう期待しています。詳しくは次号で掲載します。

さて、本年も残すところあと二月(ふたつき)です。なんか、本当に悔しい気配を感じますが、まだまだ、2学期の活動は続きます。更に気を引き締めて頑張っていきたいと思います！

＜合唱コンクール ～「歌の力」に魅せられて～＞

10/30(火)の合唱コンクール、終わった後に「もっと、聴いていたい…」「すごい感動を受けた…」「この余韻(よいん：事が終わったあとも残る風情や味わいのこと)に浸っていたい…」 そう思ったのは、決して私だけではないでしょう。

今も、みんなの歌声や取り組む様子、表情が頭の中で蘇っています。素晴らしい「合唱コンクール」何が素晴らしいのか、私が感じたことを語らせてください。

【みんなの熱気・やる気】

開会式のアナウンスが入った途端に湧き上がる歓声と拍手、私の挨拶に押し返ってきたみんなの返事の声の大きさ、そして4月以来こんな大きな校歌斉唱を聞いたことがなかったというその迫力、もう何もかも全てに君たちのこの目にかかる「やる気」や「熱気」を感じていました。こうして全校生徒による感動のイベントが幕を開けました。

そして、3年生の学年合唱、クラス合唱が始まりました。

「これは、本当に芸術だ！単なる学級合唱ではなく、まるで合唱部が取らステージのようだ！」と思う発表が次々と展開されていきました。クラスの仲間が心をひとつにして、ハーモニーを合わせ、精一杯の声を放り出し歌いあげていく。4クラス全ての歌は観客すべての胸を熱く、感動の渦に巻き込んでいったのです。圧巻のステージでした。

1・2年生の多くが、この姿を見て最大の賛辞を送っています。右ページからの感想文を読んでください。

【指揮者・伴奏者・伴奏支援者の姿】

「指揮者が片手を高く上げると、一気に合唱隊形が整う。そして、指揮者の振りに合わせて伴奏、あるいは合唱の音が響き始める。」私の席から見えるのは指揮者の後ろ姿でしたが、合唱中、クラス全員の視線がこの指揮者に集まっていました。中には、指揮者と会話しているかのような表情や、大きく口を開き笑顔で歌っている表情がありました。この光景が、1年生から3年生まで全ての学年・学級で展開されました。

歌う直前、ピアノ伴奏をする人が、指を合わせ・そらし、首や肩甲骨を中心に入念にストレッチしたり、大きな深呼吸をしたりするなど、この伴奏のために高まる緊張感をほしく集中している数秒間の姿がありました。

そして、伴奏が始まりだすと、伴奏者の横で、楽譜をめくってくれる支援者の姿も見られました。伴奏者同様に楽譜を一心に見つめ伴奏者のために役割をこなしてくれていたのですが、その胸中は、無事に伴奏が進むよう祈るような気持ちで携わってくれていたのだと思います。

【互いを称える。学年を超えて称え合う】

発表を行っての感想文に、たくさんの素晴らしいコメントが綴られました。自分たちが、精一杯やり遂げられたことへの喜びや感謝。後輩を頼もしく思うこと、先輩にあこがれを抱くことなど、互いを称(たた)え、認め合う感想が相次ぎました。学校がどんどん成長している、そう実感できる機会を得ることができました。



全校合唱「上を向いて歩こう」でオープニングしました。私も腹の底から声を出して一緒に歌いました。とっても気持ち良かった！この歌が生まれたのは1961年、私が1歳の時のことなんです。以来私の小さい頃から大人になっても、あらゆる機会で口ずむ私の大好きな曲の一つです。そして、「SUKIYAKI」という名前前で世界中から愛された名曲を、400名を超える大合唱で「たけまるホール」館内中に響き渡らせました。



いよいよ1年生から順番に、学年による発表へと移りました。本番を迎えるまでの1年生は、うまく歌えず練習に明け暮れこの日を迎えたのです。しかし、この日は、どのクラスも自分たちの持ち味をすべて出し切った合唱を披露してくれました。

確かに、声量感を上げることやハーモニーを高めることなどは、これからしっかりと練習を重ねていく必要があると思いますが、先ずは全員が真面目に真剣に取り組むことがいかに大切であるかを学んでくれたらいいと思います。

続いて、2年生の発表が始まりました。学年合唱は「絆」。一年間でこんなに成長できたという「証」を見せ、会場で一気に歌の力で包み込みました。そして、クラスごとの発表では、全てのクラスが積み上げてきた練習の成果を發揮し、素晴らしい合唱を聴かせてくれました。見事な発表でした。



3年生が1・2年生の合唱を聴いてこんなコメントをしました。「この数年、1・2年生がこのような合唱をするのは聴いたことがなかった。自分たちの1・2年生の頃と比べても、断然今年1・2年生の合唱の力は優れている。2年生のこんな素晴らしい発表を聴くと、私たち3年生は、もう本当に必死でやらなければならない…」というものでした。

※ 合唱コンクールを終えての感想を記載します。但し、申し訳ありませんが全員の感想は載せられないので、一部の掲載になっています。また、紙面の関係で、内容を一部編集しているものもあります。

【1年生の感想】

- 初めての合唱コンクールはとても緊張しましたが、自分の中では、100%の力で歌えました。クラスでまとまって一つの事に取り組むのは、とても楽しかったです。クラス全員が100%の力で歌っていました。その後の2・3年生が、僕たちの何十倍も大きな声で歌っている姿は、僕の中学校生活の一つの目標になりました。
- 今年初めて合唱コンクールに出て、他の学年や他のクラスの歌を聴き、すごく良い経験になりました。私たちのクラスは、元気があってクラスの雰囲気明るくて練習も楽しくしっかりやれたから優勝という頂点に立てたのだと思います。2・3年生の先輩方は、私たち1年生とは違う迫力があり、とても感動しました。すごく楽しくて来年・再来年に活かし、次に入ってくる人たちにつなげたいと思います。
- 自分たちが一番いい合唱ができたところはよかったです。練習の時などとても賑わって、まとまらなかった。みんなが、真剣に取り組んだらもっともっといい結果がでたはずなのにと思うと悔しかったです。
- ピアノ伴奏は難しかったけれど、間違えずに出来てよかったです。クラスではみんなが大きな声を出してくれて、とてもピアノが弾きやすかったです。
- 3年生は、歌詞に込められた意味が歌で表現されていると感じました。
- 3年生は迫力があり、さらにみんなの声と指揮者・ピアノがすべてあっていて感動しました。

【2年生】

- 合唱コンクールを終えて、今とてもやりきった感があります！最初の校歌も今年で一番出ていたし、全校合唱も良かったです。学級合唱も今まで一番声が出ていました、みんな一つになって歌えたと思います。残念ながら賞は取れませんが、とても楽しかったです。3年生の歌の迫力には本当に驚きました。来年はどのようにかっこよく歌いたいです。
- 今日の合唱は、どの練習よりも全体的に声が出ていて、クラス皆の心がよりまとまった感じがしました。1年生は、私が1年生の時よりも良く声が出ていて、よくまとまっている感じがしたのですごく良かったと思いました。3年生は、やっぱりさすがだなと思うくらい迫力のある歌声だった。とても楽しそうに歌っているのが伝わってきた。来年は、下級生からそう言ってもらえるような3年生になりたいと思いました。

- 僕は去年に引き続き指揮をすることになりました。そこで、自分は「去年より印象に残る指揮者になりたい」と思いました。クラスの曲が決まり、クラスのみんなで練習をすると、最初は全く上手に出来ませんでした。だけど、最後の方はいつの間にか、楽しく笑顔で歌っていました。指揮をしていた僕もとても楽しかったです。本番はかなり緊張したけれど、クラスの曲を歌っている皆の顔を見てると緊張がほぐれてきました。順位こそ準優勝だったけれど、とても印象に残る合唱コンクールになりました。クラスのみんな「ありがとう！」
- 今日、合唱コンクールを終えて学んだことがたくさんありました。一つは、一生懸命声を出せば、気持ち伝わるとことです。部活動もそうですが、声がかかるまで出すことで、先生方にも思いは伝わったのだと思います。もう一つは、皆の気持ちが一つになる事で、団結力がアップして、歌としても一つになれることです。今回の合唱コンクールで1位になれたのも、一人ではなく、33人全員が気持ちを合わせられたからだと思います。
- 自分は十分に歌えたと思っています。みんなで協力して、歌った合唱は、一生心に残ると思います。3年生はものすごく迫力があり、僕の目標でもあります。1年生も頑張っていると思いました。結果はどうでもいいので、みんなが楽しみながら歌えたのが良かったと思っています。
- 自分が思った感想は、1年生は初めての合唱コンクールにしては、上手だったと思った。僕たち2年生も、想像以上に良かった。3年生は素晴らしい。来年は、必ず優勝して悔いの残らないようにしたい。次、自分たちが3年生になると、今年の3年生を超えるぐらいの尊敬される3年生になりたい。今の3年生は、本当に上手だった。

【3年生】

- 一生懸命練習したのに優勝できなかったのはとても悔しかったです。しかし、自分のベストを尽くせたので、歌を歌うということに楽しさを感じた瞬間がありました。2年生の学年合唱が一番心に響きました。自分のクラスの色が他のクラスや他の学年、保護者の方々などに伝えることができたのならそれで満足です。
- 今年の合唱コンクールは、1・2・3年生のどのクラスもとても頑張っていて、すごいなと思いました。一番うれしかったのは、やっぱり自分のクラスが優勝できたことです。練習の成果を存分に生かしたし、とても楽しく、みんなで歌うことができ本当に良かったなと思いました。
- 本番は、今までで一番良かったと悔いなく終わりました。他の学年が頑張っているのを見て、頑張れたというのもあったので、他の学年には

感謝しています。3年間の中で、一番楽しく頑張れた合唱コンクールでした。練習では、厳しいことも言われたし、正直グラグラしてしまっていたこともあったけれど、それを乗り越えたからこそ、こうして悔いなく終われた一つになれたのだと思います。

- 1年生は、少し緊張しているように見えたのですが、胸をはって堂々と笑顔で歌っている姿を見てとてもわくわくしました。2年生は、昨年との大きな違いに本当に同じ人たちが歌っているかと思うほど驚きました。それぞれのクラスの曲調に合わせて歌い自分の中でその曲のイメージを持って歌えていて楽しく感動しながら聞いていました。そして私たちのクラスの歌は結果よりもやりきった、楽しかったと思うことができたので、本当に最高の合唱コンクールになりました。わたしは、このクラスでここまで一緒に練習できたことを心から嬉しく思っています。
- 今回の合唱コンクールは全体的に大きな声で、どのクラスもよかったです。私たちのクラスは、1・2位にはなれなかったけど、歌が終わったときの達成感はずいぶんありました。3年生は、今回で最後ですが、来年からは今の1・2年生がもっとすごい合唱をするのではないかなと思いました。最高に楽しかったです。
- 私は、本番前とても緊張しました。手が震えてちゃんとピアノが弾けるのかとても心配でした。でも、終わったらホッとしたり、とても楽しかったです。結果はとても悔しかったけれど、悔しいと思えたのは、今までしっかり練習してきたり、本番で一生懸命歌ったりしたからだと思います。また、今年は2年生のレベルがとても高いなと思いました。
- わたしは指揮をさせてもらいました。本当に充実した仕事でした。クラスの練習の時など、みんなが「並ぼう。」や「静かにしよう。」などの声かけをしてくれて本当にやりやすく、楽しくできました。本番は練習以上の歌声でした。とても良い合唱でした。3年生の合唱は、どのクラスもすばらしくて下級生の人たちにより影響を与えられたと思います。とても楽しかったです。クラスのみんなありがとう。

いかがですか、代表的な内容の感想を載せましたが、同じような気持ち、思いがたくさん綴られていました。

仲間が仲間の良いところを見出し、認め、そして称賛する。

先輩が後輩たちを優しく見つけ、励ます。

後輩たちが先輩の姿にあこがれ、憧れ、目標に掲げる。

すばらしいことですよ！これが、私たち「光明中学校の力」なんです！本校の生徒であることを誇りに思い、胸をはって進んでいきましょう！